

【PRESS RELEASE】成田空港活用協議会

首都圏中央連絡自動車道の建設促進に関する要望活動の実施について

平成25年11月22日

本日、成田空港活用協議会（会長 石井俊昭）では、首都圏中央連絡自動車道（以下「圏央道」という。）の県内未開通区間の早期整備等について、県内の関係3団体とともに、下記のとおり要望活動を実施しましたのでお知らせします。

記

1 実施期日

平成25年11月22日（金）

2 要望の内容（別添のとおり）

- 圏央道の一日も早い全線開通を図ること。
 - ・開通目標が平成25年度の茨城県稲敷から神崎間、平成26年度の神崎から大栄間について、着実に事業を進めること。
 - ・大栄から横芝間について、早期に用地取得に着手し、事業を進めること。
- 圏央道をはじめ、必要な道路整備予算の総額を十分に確保すること。

4 要望先

- ・国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官ほか
- ・県選出国會議員

5 面談者

国土交通大臣政務官 中原 八一
国土交通省 技監 足立 俊之
国土交通省道路局長 徳山日出男

6 同時に要望した関係団体

首都圏中央連絡自動車道促進期成同盟会
千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟
首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議

《お問い合わせ先》

成田空港活用協議会事務局 内田（事務局長）

千葉市中央区千葉港4-3 千葉県経営者会館3階301

TEL:043-306-2411 FAX:043-306-2412 E-mail:info@nrt-promo.jp URL:<http://www.nrt-promo.jp/>

首都圏中央連絡自動車道の建設促進に関する要望書

「成田空港活用協議会」は、成田空港が開港35周年を迎えた節目となる本年、発着容量30万回化で高まる成田空港のポテンシャルを、本県全体に波及させるため、経済界や、観光及び交通事業に関わる企業・団体、千葉県、成田市の全県的な呼びかけのもと、オール千葉の体制で設立されたものです。

本年7月31日の設立総会では、協議会の事業展開の方向性を会員間で共有するため、「成田空港‘ACTION’プロジェクト」を掲げ、事業に取り組んでいくことを確認しました。

「ACTION」とは、

Activate Chiba's-economy Through Inter-city-expressway-network and
Our Narita airport

すなわち、「成田空港と圏央道（首都圏中央連絡自動車道）等の高速道路網を活用した千葉県経済の活性化」を意味しています。

私たちは、発着容量30万回化という成田空港の新しい動きを、機を逃がさずに、本県経済の活性化につなげるために、集中的・効果的に活動を展開していくこととしております。既に、圏央道の開通区間を活かして、国内外から成田空港を訪れるお客様に広く県内を巡っていただくための取組みを始めており、今後もこうした努力を続けていく所存です。

成田空港は、本県経済の成長エンジンです。その推進力を、本県はもとより、広く首都圏全体に波及させていくためには、交通網の整備が極めて重要であり、その基幹インフラが圏央道等の高速道路ネットワークです。

こうしたことから、成田空港を活用した経済活性化の取組みをより一層進展させるために、当協議会として、圏央道の整備促進について下記のとおり要望します。

記

- 1 一日も早い全線開通を図ること。
 - ・開通目標が平成25年度の茨城県稲敷から神崎間、平成26年度の神崎から大栄間について、着実に事業を進めること。
 - ・大栄から横芝間について、早期に用地取得に着手し、事業を進めること。
- 1 圏央道をはじめ、必要な道路整備予算の総額を十分に確保すること。

平成25年11月22日

国土交通大臣 太田 昭宏 様

成田空港活用協議会 会長 石井 俊昭